

東之御嶽（あがりぬうたき）



東之御嶽

石灰石造りの祠で、東海楽土のニライナカイからの豊穰・繁栄を招く世持神として崇められています。かつての御嶽庭（ウタキナー）は三千坪を有し、子供達の遊び場、砂糖樽用の樽板（クリイタ）や日干し食料の干し場、また村遊びの出し物の稽古場として村人に親しまれていました。



5. 新井泉（ミーガー）

野良仕事や漁の帰りに使用されていたと伝えられ、昭和20年以降は路地の傍らで、湧水のない簡素な穴井（アナガー）として保存されてきました。昭和58年の区画整理工事の際に移設を行い、東之御嶽の敷地内に新装併設されました。